

# シイタケ KS31

培養温度：20～25℃ 発生温度：12～20℃

培養80日頃から発生操作可能！

\*積算温度目安：1,800～2,000℃

\*初めての場合、「試しカット」をお薦めします。

発茸能力が高く、生産しやすい！

\*過培養した場合、多発する可能性があります。

\*2回目以降も発茸しやすい傾向があります。

発茸数やや多く中～大玉でパックにも適！

\*発生個数によって大きさは異なります。

きのこは、やや硬めで色味が明るい！

\*KS21と比較して硬めです。

菌床が硬めで、長持ちしやすい！

\*培地や栽培条件によって異なる場合があります。



1 番発生



2 番発生

\*当社2.5kg菌床75日培養(チップ50%)

## ■管理目安

培養期間	目安 2.7Kg菌床 80～90日 1.3Kg菌床 70～80日 *樹種、栽培条件等によって期間が異なる場合があります。 *芽数が必要な場合は、1週間程度を目安に追熟させてください。 *芽数を少なくしたい場合は、袋カット後3日程度22℃前後で菌床を締めてから発生環境に移行してください。
培養温度	20～24℃ (適正温度目安：22±1℃)
発生温度	12～20℃ 例) 15～17℃一定、12～20℃変温

- 樹種、チップ割合、その他の栽培条件により、培養期間が異なる場合があります。(初めて発生させる方は、試しカットすることをお薦めします。)
- 培養期間中は、暗黒下での管理は避けてください。(照射目安：1～4時間程度・10～100Lx程度)
- 休養期間中は、22～25℃で散水(休養開始時に多め加水)しながら10～15日間管理して下さい。
- 発生処理は、注水又は浸水が可能です。